

## 事業評価書（事前）

作成年月日

事務事業名		小規模な中核的病院を有する二次医療圏に対する医療機能補完整備事業
事務事業の概要	(1)目的	地域の中核的な役割を担う病院が中小病院の二次医療圏において医療機能の充実を図るため、医療機関の情報化及び地域医療の連携による補完を行う。
	(2)内容	地域医療の連携等により医療機能を補完するため、医師、看護婦、その他の医療従事者を対象とした情報システム研修等を行う施設整備を行う。
	(3)達成目標	<p style="text-align: center;">  予 定 額   1 8 1 百万円</p> 地域の中核的な役割を担う病院が中小病院の二次医療圏（30 地区）において、情報システムの研修等を行うための施設を整備する。
評価	(1)必要性	<p>[国民や社会のニーズに照らした妥当性、公益性、緊要性の有無]</p> 地域において質の高い効率的な医療提供体制を構築するため、医療情報の収集や病病・病診連携等による機能分担及び業務連携の推進が求められているところであるが、特に大病院等の所在しない地域にあっては、中核的な役割を担う中小病院が地域の医療機関及び地域外の専門病院や設備等の整った大病院との連携等を通じて医療機能の補完を図ることが重要であり、そのための施設整備を行うことが喫緊の課題である。
	(2)有効性	<p>[今後見込まれる効果]</p> 医療機関の情報化の推進や医療機関間の連携強化により、効率的な医療提供体制整備が図られる。なお、情報機器の設置等を伴うことから、情報関連機器等の設備投資や情報システムのバージョンアップ等の変更が見込まれるため、それらの民間投資の創出等の効果が見込まれる。
	(3)効率性	<p>[手段の適正性]</p> 地域における中核的な役割を担う病院の医療機能を情報化、連携等により補完するものであるため、医療資源の効率的活用により地域医療の充実が図られる。
	(4)その他 (公平性・優先性など)	
関連事務事業		なし
特記事項		
主管課及び関係課		(主管課) 医政局指導課